

# 東みよし

3月議会号

さようなら  
絵堂小学校

主な内容

平成23年度当初予算 78億6,328万円	2
クラシック in 東みよし町	6
一般質問に4人登壇	14

# わたしたちの暮らしに

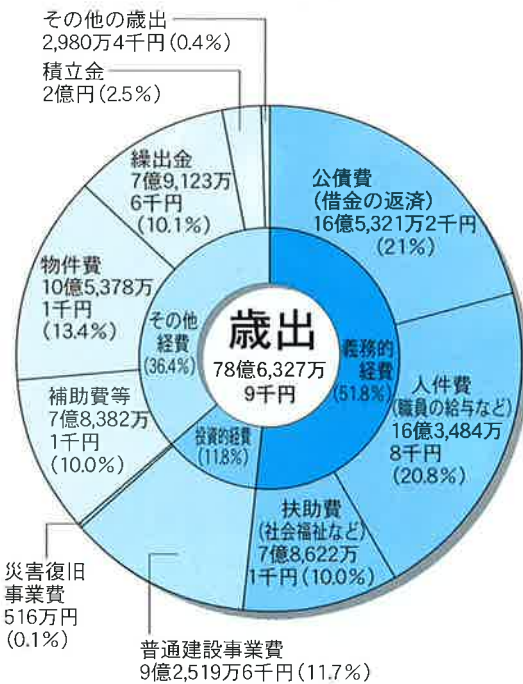
平成23年度  
予 算

一 般  
会 計

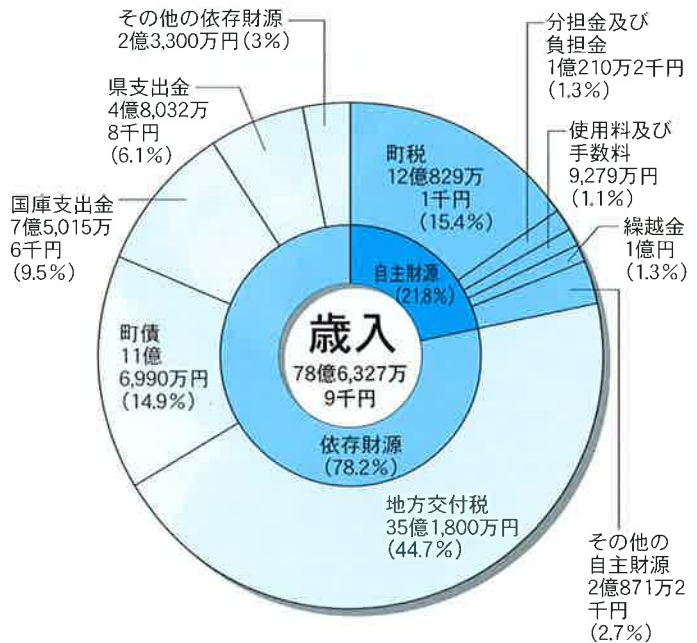
# 78億6,328万円

平成23年度の当初予算(一般会計、5特別会計、1企業会計)は慎重な審議の結果、すべて原案の通り可決しました。

## 一般会計性質別 歳出



## 一般会計 歳入



### 農林水産業費

農業・林業・水産業の振興など



3億3,936万円

### 衛生費

保健衛生、ごみの清掃、し尿処理など



4億8,021万円

### 議会費

議員の報酬・議長交際費など



1億814万円

### 民生費

社会福祉や生活扶助など



19億5,604万円

### 総務費

役場の管理運営・財産管理・地域振興対策など



11億5,991万円

### 歳出総額



78億6,328万円

※金額はすべて千円未満を四捨五入しています。



子どもたちが安心して暮らせる町に !!

**思**

いもよらない東日本大震災に襲われた日本。復興支援や原発対応に追われる中、平成23年度のみよし町の当初予算が決まった。

一般会計当初予算の総額は、78億6,328万円と前年度に比べて3億5,117万円の増となった。前年度は、4月に町長、町議会議員の選挙を控えていたために骨格予算のみの少ない予算編成だったが、補正予算の一部を合算した通年予算(76億7,714万円)にして比較してみると、実質1億8,614万円の増となる。一方、5つの特別会計(老人保健事業が減)と1つの企業予算の総額は、前年度より6,527万円増の20億5,876万円となった。

**歳入** では、町民の皆さまに納めていただく町民税や固定資産税が前年度に比べて787万円増の12億829万円。所得税など国税の中から町に交付される地方交付税は、2億3,332万円増の35億1,800万円。町の事業のための借金、町債は、前年度に比べて事業の減少により5,440万円

少ない6億1,490万円となっている。

**歳出** では、町の借金の返済である公債費が1億1,304万円少ない16億5,321万円となっている。議員や職員の給与などの人件費は、議員年金制度の見直しによる共済年金の増加により2,595万円増の16億3,485万円。道路などの整備に使う普通建設事業費は、町道滝下中村線開設やスポーツセンター線、谷門横峰線、三枝線、美濃田淵線などの改良工事を行うために2,232万円増の9億2,520万円を計上している。

**借** 金返済のピークが過ぎたとはいえ、今年度も借金依存型の財政事情には変わらない。行財政改革推進プランに添って、引き続き徹底した節減を図らなくてはならない。しかしながら、限られた予算の中で多様化する住民ニーズをしっかりと把握し、サービスの提供に努める事も重要だ。今後、自主財源の拡大と効率的な行財政運営を進めていかなくてはならない。

<p><b>その他予備費など</b></p> <p>災害復旧費など</p> <p>2億1,016万円</p>	<p><b>教育費</b></p> <p>教育・文化・スポーツ施設の充実など</p> <p>6億4,288万円</p>	<p><b>消防費</b></p> <p>消防・水防・防災対策など</p> <p>2億6,740万円</p>	<p><b>土木費</b></p> <p>道路・橋・町営住宅の建設、維持管理など</p> <p>9億4,456万円</p>	<p><b>公債費</b></p> <p>償還(借金返済)など</p> <p>16億5,321万円</p>	<p><b>商工費</b></p> <p>商業・工業の振興など</p> <p>1億141万円</p>
--	---	--	---	---	--

出生から  
↓  
小学6年生まで

# 乳幼児医療費助成

4月1日  
から  
実施

平成22年12月議会で、安心して子どもを産み、育てることのできる環境作りを推進するために「乳幼児等医療費の助成に関する条例」の改正（対象を小学3年生修了までを、小学6年生修了までに拡大）をしました。その条例を4月1日から施行します。

**問** 対象となる児童数はどのくらいか。

**答** 4月1日現在の対象予定者は、1,370名を見込んでいます。

**問** 対象を小学6年生までに拡大することにより、どれくらいの支出が必要と見込んでいるのか。

**答**

年額で3,440万円と見込んでいる。小学3年生修了までは県費補助が1/2あり、残りの小学6年生修了までは町単独事業なので町費となる。

※ 現行の乳幼児等医療費助成制度は、乳幼児（出生～小学校3年生修了まで）の医療費のうち、保険診療分による自己負担額を助成する制度。



乳幼児医療費助成が拡大します

## 特別会計・企業会計当初予算

予算額合計19億6,203万7千円

会計名	予算額	前年度予算増減	採決の結果
国民健康保険事業	13億1,687万8千円	1億1,524万6千円	全員賛成で可決
簡易水道事業	9,398万2千円	△ 4,760万6千円	全員賛成で可決
公共下水道事業	2億4,850万円	1,000万円	賛成14、反対1で可決
後期高齢者医療事業	1億6,276万円	△ 1,638万6千円	全員賛成で可決
三加茂財産区	10万1千円	△ 20万円	全員賛成で可決
水道事業	1億3,981万6千円	△ 82万4千円	全員賛成で可決

※東みよし町は、一般会計のほかに特定の財源を特定の支出にあてる独立した5つの特別会計と1つの企業会計をもっています。



みよし保育所の子どもたち

# 指定管理者を指定

## 吉野川

## ハイウェイオアシス



4/3 さくら祭りでの阿波踊り

3月31日で期限が切れる吉野川ハイウェイオアシス施設の指定管理。今までの経験、実績から引き続き「吉野川オアシス(株)(藤丸公志社長)」を指定管理者の団体に指定しま

す。期間は、平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間で、年間の指定管理料は、1,800万円です。

## 水の丸地域観光拠点施設

### 天空の郷「夢里庵」

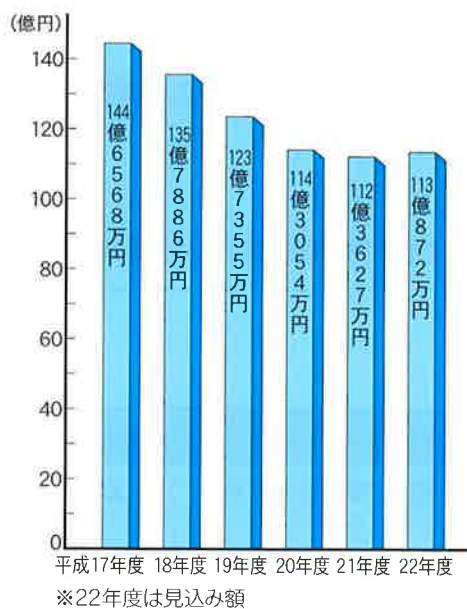


天空の郷「夢里庵」

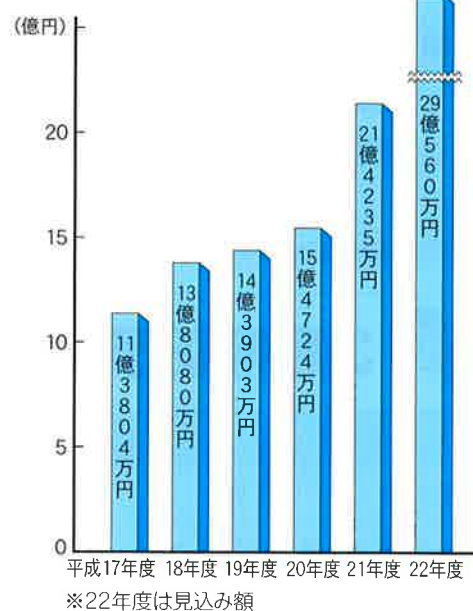
水の丸地域の観光拠点施設の完成に伴い、設置管理条例の制定をします。また、指定管理団体に「水の丸苺生産組合(代表 遠藤弘行氏)」を指定します。期間は、平成23年4月1日から平成28年3月31

日までの5年間です。この施設の名称を天空の郷「夢里庵」と名づけ、地域の拠点とします。施設は、木造平屋建てで、延べ床面積78㎡。指定管理料は、組合が施設を管理運営するために無償です。

地方債(借金)残高の推移



基金(貯金)残高の推移



3月定例議会は、3月8日から18日までの11日間の会期で開催しました。

この議会では、平成22年度の補正予算3件および平成23年度の一般会計・特別会計・企業会計の当初予算7件、条例の制定・改正など8件、指定管理者の指定2件、合計20議案を審議し、いずれも原案の通り可決しました。

一般質問には、開会日に4人の議員が登壇して、町政の課題について幅広く活発な質問を展開し、町の考えをたいただきました。



交響楽団

# クラシックin東みよし町

## 980万円

県内3町(東みよし町、美波町、神山町)で連携し、一流の演奏家と地域住民の共演を実現させることにより、町民に高い芸術性を持つコンサートの鑑賞機会を提供すると共に、地元の音楽活動の高揚と技術の向上を図り、音楽を中心とした文化圏の形成と、地域の活性化を促進することを目的としてクラシックコンサートを行います。



加茂小体育館でのコンサート

公演日 平成23年9月19日(月) 敬老の日 午後7時～  
 会場 ふれアリーナみよし  
 指揮者 時任 康文  
 演奏 オリジナル管弦楽団、地元及び隣市合唱団体による合唱団  
 チケット販売 一般 2,000円(当日2,500円)  
 小、中、高 1,000円(当日1,500円)

## 補正 3月補正予算の結果

会計名	補正額	補正後の予算額	採決の結果
一般会計(第7・8号)	3億1,393万1千円	87億3,680万4千円	全員賛成
国民健康保険事業特別会計(第3号)	507万円	12億3,669万6千円	全員賛成

## 条例 廃止

# へき地診療所を閉所 福祉バスを運行

大藤へき地診療所は、町内医療機関の先生方の協力を得て、大藤、奥村地区の医療の確保を図ることを目的に運営をしてきました。しかしながら、施設の老朽化や医療の近代化、高度化、また地域の人口減少に伴い受診者も少なくなり、平成23年3月末をもって閉所することになりました。

なお、4月からは福祉バス事業の拡充により、町内医療機関や行政機関への送迎サービス（送迎バスを購入し、社



大藤診療所



福祉バス

## 三好南岸土地改良区 灌漑事業償還金助成金 1,273万円

三好南岸土地改良区は、昭和29年の設立以来57年が経過して、現在約170haの灌漑を賄っていますが、近年の少子高齢化に



南岸用水

よる担い手不足・住宅地化により受益面積及び組合員が年々減少している状況です。それに加えて、三好地区の北岸用水は大規模な施設整備を国・県・町が負担して事業を行う形できていますが、南岸用水については全て土地改良区が実施してきた経緯もあり、現状では農家の賦課金にも相

## 条例 改正

# 出産費用を39万円に

健やかに育つ赤ちゃん

少子化対策の一環として、出産にかかる費用を平成21年10月から平成23年3月までの暫定措置として4万円を上乗せして39万円を支給（産科医

療補償制度に加入している医療機関で出産した場合3万円を加算して42万円を支給）してきました。しかし、国民健康保険法改正により、平成23年4月から39万円に恒久化されるため国民健康保険条例の一部を改正し、本則を35万円から39万円に改正します。

当な差が生じています。将来的な観点から農家の負担軽減を考慮し、共に本町の農業を担っていただくために、三好南岸土地改良区に平成23年度分としての農林漁業金融公庫1,067万1千円とJA阿波みよし分206万円の灌漑事業費償還金を助成するものです。

## 陳情

陳情の名称	代表者	審査結果	
電気工事・管設備工事の分離発注推進のお願い	(社)徳島県設備業協会 会長 栗本 利幸	趣旨採択	全員賛成
市町村管理栄養士配置に関する陳情書	社団法人日本管理栄養士会 会長 中村 丁次	採 択	全員賛成
尖閣諸島をはじめ我が国の領土領海を守るための陳情書	日本の領土を守る徳島の会 代表 米田 末子	採 択	全員賛成

東みよし町議会では、教育厚生、総務、産業建設の3常任委員会を設置しています。本会議から付託された議案を3月9日、11日、14日に開催された各常任委員会で活発に審議をしました。その主な内容を報告します。

**みかもハイツ修繕などに1,815万円**

**問**

民生費の中で、母子生活支援施設費として、国県支出金1,815万円が計上されているが、どのようなことに使うのか。

**答**

東みよし町母子生活支援施設「みかもハイツ」の施設の修繕に使います。みかもハイツは母と子が安定した日常生活を営むことができ、入所家庭のプライバシーを守りながら、児童の養育、学校、就職、病気などあらゆる悩みの事の相談に応じ、社会的に自立した家庭生活が営めるように協力、助成する施設です。鉄筋コンクリート造り、2階建て、入居可能世帯は20世帯。現在は13世帯（4月7日現在）が生活をしています。昭和58年に現在地へ移転後、約28年が経過し、屋根や外壁など施設はかなり老朽化が進んでいます。また、入所者の部屋にはエアコンが設置されていないため、特に夏場は住みやすい

母子生活支援施設「みかもハイツ」

環境とはいえない現状です。このような状況を踏まえ、全20部屋へのエアコンの設置や一部バリアフリー化、屋根、外壁の修繕工事を行います。

※ 入所資格 夫のない女子、またはこれに準ずる事情にある女子であって、その者の養育すべき児童の福祉にかけるところがあると認められる方。

**子育て支援組織開設に350万円**

**問**

民生費の中で、ファミリーサポートセンター委託料として350万円が計上されているが、ファミリーサポートセンターとはどういったものなのか。

**答**

ファミリーサポートセンターは、仕事と育児を両立し、安心して働くことができるように地域で子育て支援ができる環境を作ることが目的とします。「支援を受けたい人」と「支援をしたい人」を募集、登録して、「依頼会員」から保育所や塾への送迎、放課後一時預かりなどの援助の依頼があったとき、それを支援する「提供会員」を紹介する施設です。対象は小学6年生まで。経費の削減や会員の確保のため、三好市と共同開設します。

**足代小学校体育館設計委託料に800万円**

**問**

教育費、小学校管理費の中で、設計委託料1,220万円が計上されているが、どの施設の設計委託料なのか。

**答**

足代小学校体育館改築工事設計委託料800万円と、昼間小学校校舎耐震工事設計委託料420万円です。足代小学校体育館（昭和53年建築）は、建築後32年が経過し、耐震診断の結果、危険建物と診断され、建て替えのための設計を行います。建築場所については、学校、PTAなどと協議のうえ決定する予定で、平成23年度に設計、工事完成については建築場所によって工期に違いが出るため、現段階では未定です。

また、昼間小学校南校舎（昭和42年建築）と北校舎（昭和56年建築）は、建築後、30年以上が経過し、耐震診断の結果



子育て支援の環境を





屋間小学校の北校舎・南校舎

果、補強を要する建物と診断されたため、安全基準を満たすための耐震工事設計を行います。平成23年度に設計を行い、平成24年度に補強工事を完了する予定です。

## 都市再生整備計画事業費に 3億2,700万円

**問** この事業は継続事業だ  
と思うが、今年度はどの  
ような工事をするのか。

**答** 町道滝下中村線の用  
地取得と工事(延長39  
0m、幅5m)に着手する予定  
です。平成23年3月に岡踏み

切りの改良工事が完成し、この  
路線を早期完成させることに  
より、国道への連絡道として効  
果を発揮し、踏み切り事故な  
どの防止を図ります。また、  
町道スポーツセンター線の用地  
取得や補償費、工事(延長12

0m、幅7  
m)を実施  
する予定で  
す。総事業  
費は、3億  
2,773  
万4千円。

**問** 会社  
本整備総合  
交付金事業  
費、1億6,  
501万6  
千円の内訳は。

**答** ●町道三枝線の改良工  
事(延長60m、幅  
5m) ●町道谷門横峰  
線の設計委託料、用地  
費、補償費 ●町道美  
濃田淵線改良工事(延  
長110m、幅5m)高  
速道の吉野川スマートー  
C出口付近の立体交差  
化を行い、通行者の安  
全と経費の節減を図る  
予定です。 ●橋梁の点  
検 町内にある2m以上  
15m以下の169橋につ



町道三枝線の改良工事

## 林道大藤古野線開設 工事に4,200万円

**問** 農林水産業費の中  
で、育成林整備事業  
費として4,251万1千円  
が計上されているが、どう  
いう事業なのか。

**答** 大藤地区を起点と  
して、町道水の丸幹  
線に連結する森林管理道で  
す。区域内に存在する豊富  
な森林資源を活用し、林業  
生産基盤の整備を促進する  
ことにより、合理的な林業  
経営及び森林の持つ公益的  
機能の推進を図り、林業の



林道大藤古野線

振興を図ることを目的とし  
ます。平成11年度からの継  
続事業で、今までに5,0  
35m開設していて、今年  
度は延長200m、幅3.  
5m開設する予定です。計  
画している総延長は、9,  
742mです。

**問** ●町道三枝線の改良工  
事(延長60m、幅  
5m) ●町道谷門横峰  
線の設計委託料、用地  
費、補償費 ●町道美  
濃田淵線改良工事(延  
長110m、幅5m)高  
速道の吉野川スマートー  
C出口付近の立体交差  
化を行い、通行者の安  
全と経費の節減を図る  
予定です。 ●橋梁の点  
検 町内にある2m以上  
15m以下の169橋につ

いて、健全度の把握のため点検  
をします。



スマートIC 出口付近



吉野川ハイウェイオアシス

2/7 地域拠点整備事業対策特別委員会

オ アシス役員体制の刷新を  
若い人の採用を望む

▼この3月末をもって終了する吉野川ハイウェイオアシス施設の指定管理については、施設の規模や従前の経緯等から引き続いて「吉野川オアシス(株)藤丸公志社長」に指定管理を、併せて指定管理期間についても、尚一層の経営計画が立てやすい

よう2年間延長して5年間にすることに、全委員の同意を得ました。  
▼施設関係につきましては、建設から11年が経過し、今後大規模な修繕も生じてくることが予想されるため、資本金3億1,500万円のうち1億円を計画的に充当できるよ

うにしてはどうかと云う意見もありました。組織編制、運営方法についても、今後において全議員の意見も聞いて判断していくことにしました。

▼藤丸社長に対しては、施設運営の大きな割合を占めている人件費の削減、及び役員体制の刷新、充実を図り、将来のために若い人を採用して育ててほしいとの要望をしました。

▼その他の事項として産業課長から「水の丸地域観光拠点施設条例」施設の概要説明があり、名称や指定管理をする団体を検討して、新年度オープンを目指しての条例制定案を3月議会に提出することとした。

■今議会の産業建設常任委員会に付託されている、下水道事業に係る用地権利取得費について説明を求めました。本年度は経済的に有利等の理由から、既に管渠を施工している3箇所のみ地や将来施工予定1箇所の地地についての用地権利取得費が予算計上されています。担当者から「当時、

県道拡幅工事の途中でもあり、調整が難しく、また、迂回ルートより管路延長を短縮できるためこのルートを選択した。このルートには県道を横断しているボックスカルバートがあり、その中を通すことにより県道の掘削をせずにすむため、用地権利を取得しても総合的に経済的に有利であると判断した」との説明がありました。この用地権利取得費については、既に産業建設常任委員会で可決しているため、本委員会としては、適正かどうか積算をし直し、再確認した後、予算の執行をするように要請をいたしました。

現在、進捗状況については、平成22年度の管渠布設工事延長は0.8kmで、全体延長にして約31.1km達し、このまま順調に施工がすすめば、あと約4kmで認可区域内の整備はほぼ完了することです。加入率につ

いては平成22年度末で約61%に達する予定です。認可区域の拡大については、下水道事業は、全体計画(全体区域)の見直しが確定した後、全体計画内の当面の事業計画(認可区域)を立てるしくみとなっていて、先の会計検査において昨今の人口減少下においては全体計画の見直しが必要との指摘もあり、平成23年度においては、まず、全体計画(全体区域)の見直しを行う予定であり、その予算を計上していることとす。また、加入促進については、未だ十分行っていないこととす。

3/10 下水道等環境問題特別委員会

用 地権利取得は妥当か  
予算の執行を慎重に

現在、進捗状況については、平成22年度の管渠布設工事延長は0.8kmで、全体延長にして約31.1km達し、このまま順調に施工がすすめば、あと約4kmで認可区域内の整備はほぼ完了することです。加入率につ



下水道工事

## 議

会放送は本議会のみ  
生放送と録画放送を

三加茂庁舎3階北側に、今般の事業で設置されている通信系センター設備の入った電算室で、機器及びシステムの説明を、続けて西側の放送系機器室で、テレビ放送の仕組み

総事業費22億  
3,600万円

平成18年度の地域情報



情報機器の視察

化基本計画策定を皮切りに始まった情報通信基盤整備事業の年度ごとの事業内容、並びに経費実績について説明を受けました。平成22年度事業について、補助事業の関係で未だ若干流動的であるとのことですが、5年間の事業総額は22億3,638万6千円です。一般財源は1億8,592万2千円ということで、当初想定されておりました事業費より低く抑えることができたようです。

ただ撤去が遅れている状況で、町としては補助金予算の執行について、撤去が完了し支出できるかどうか危惧しているとのことです。

次に、テレビトクシマ112チャンネルでの町議会中継について、企画課からの放映手順説明などをもちに、これまでの委員会協議をふまえた上で、意見交換を行いました。生放送とするか編集しての録画放送とするか

について協議しましたが、編集する部分の審査を誰が行うか、どの様な部分をどの程度まで編集するかなど、基準とするものが曖昧となってしまうこと、また編集に時間的にも労力的にも相当の手間が必要ということで、編集せずに放送すべきとの意見が大多数を占め、当日、リアルタイムでの生放送を行うとともに、その後、休憩時間のみカットし、数日間、録画放送も行うことで意見集約しました。

## 町内の共聴組合施設撤去補助に係る進捗状況

補助金支出までの全て

が完了している団体が4団体、現場撤去工事が完了している団体が8団体、工事中の団体が6団体ということ、各団体、精力的に撤去を進めているようですが、唯一、三加茂テレビ受信共同組合

## 議会放送は本議会のみ

どの会議を放送するかについては、とりあえず本会議だけ放送することから始めるということ、意見一致しました。なお、放送画像中のテロップにつきましては、発言者名テロップや、あらかじめ分かっている一般質問の質問内容テロップなど簡単なものは、生放送であっても準備さえしておけば、即座に挿入可能ということでしたので、特段の問題は無いとの結論に至りました。



議場に取り付けられたカメラ

ました。どちらにしても、最終的には拡大委員会を開催するなどし、全議員の意見集約での判断をいただきたいと考えています。

その他、町自主放送の制作手順概要や問題点等の説明を受けましたが、編集作業等に相当な知識と労力を要するうえ、仮に、住民提供の映像を放映するにしても、編集・内容確認作業は必要で、映像の審査基準等も煩雑となることから、多くの自主番組を放送することは難しいように思えます。

## 第1回臨時会

平成23年1月31日、第1回臨時会を開催しました。

この議会では、平成22年度一般会計補正予算(第6号)のみの1議案を審議し、原案の通り可決しました。国の円高、デフレ対応のため緊急総合経済対策として創設された「地域活性化交付金」1億764万円が交付されたため、その交付金を活用した事業(町単独事業)が主な補正の内容です。町の実情に応じてハード、ソフト面など、きめ細かな事業に使えるのが特徴の交付金です。

会計名	補正額	補正後の予算額	採決の結果
一般会計(第6号)	1億3,598万2千円	84億2,287万3千円	全員賛成

402万円



住宅用火災報知器

### 福祉支援事業

高齢者住宅用火災報知器設置委託料

75歳以上の者のみで暮らす世帯に火災報知器(1個)を設置し、支援します。火災報知器の取りまとめについては、町商工会が行います。

1,600万円



阿波加茂駅

### 地域商業活性化事業

阿波加茂駅の整備

平成22年9月より完全無人化になったJR阿波加茂駅。駅舎を駅前商店街の活性化や地域コミュニティの醸成などを目的に、また地域の拠点として活用するために改修工事を行います。

1,532万円



高圧蒸気滅菌器

### 疾病対策事業

多様化する各種検診や予防接種等に対応するために、予防接種のシステムやソフトの導入、高圧蒸気滅菌器を購入して総合的な健康管理を実施します。子育てのための保健指導や生活習慣予防などに繋がります。

1,000万円



愛育園

### 児童養護施設支援事業

児童養護施設の愛育園は、施設の老朽化、耐震化のために改修工事を行います。その施設改修費用を支援します。

618万円



デジタル簡易無線

### 防災対策備品整備事業

三加茂庁舎にデジタル無線基地局を整備し、火災現場等での後方支援として消防団員との連絡を円滑にします。

1,355万円



オアシスの和式トイレ

### 観光施設整備事業

吉野川オアシスの和式トイレ13基を洋式化、美濃田の湯のサウナ室の修繕工事、美濃田の淵パンガロー敷地補修、老朽化した風呂ノ塔キャンプ場の撤去、染香房の修繕などを行います。

1,352万円



公民館の手すり

### 社会教育施設整備事業

各公民館の車椅子用スロープ、手すりの整備、自動火災報知設備の修繕や加茂、三庄、足代公民館2階ホールに空調設備を設置します。



足代小学校の舗装された進入路

### 学校施設整備事業

エアコンが未整備の加茂幼稚園、三庄幼稚園にエアコンの設置や、足代小学校駐車場の舗装、屋間小学校蛍光灯増設工事など学校施設の整備を行います。

1,432万円



町道改良工事

### 道路橋梁整備事業

住民の生活道を確保するため町道の改良や補修を行います。



トレーニングセンターの和式トイレ

### 体育施設整備事業

トレーニングセンターの和式トイレの一部を洋式化、ふれアリーナみよしの換気扇設置工事、各体育施設の改修工事を行います。

963万円

# 4 議員

10項目の質問を行い、町の考えをたずねました。

# まちの考えを問う

## 一般質問

### 滝下中村線新設事業の早期完成を

#### 町長 まずは金川踏切より東方向を整備



つづみ 文明議員

#### 堤

まちづく  
り交付金に

については、交通ネックの解消を基軸として道路や排水路整備、浸水地区の縮小や防災施設の充実、地域情報化の推進など多岐にわたって計画が立てられています。今年度までの進捗状況について、平成23年度は最終年度となりますが、その実施予定箇所はどのようになっていますか。

#### 建設課長

まちづく  
り交付金事

業については、平成19年度より事業が実施されて

おり、平成21年度までに道路事業として1,989メートルの改良及び舗装工事が完了。金川大堀線が施工中の他、滝下中村線の測量設計などを行っています。また、吉野川第1堤防築堤による谷門橋の改築においては、平成23年度で概ね完成予定です。また、金川排水路整備事業では、平成22年度予算までの累計343メートルの予定で整備中

#### 堤

金川国道  
線の岡踏切

スポーツセンター線の堤防側、ホテルお花はんから国道の間205m及び町道滝下中村線の新設工事を予定しています。

です。さらに地域生活基盤施設として、加茂小学校の体育館が完成しており、これら事業費の進捗状況については、平成22年までの事業費で16億9,480万円、率にして92.9%の進捗となっています。平成23年度は残事業ということ、町道

を軸に、東西に新設する滝下中村線については、進捗が少し遅れているように感じます。この道路は地域人口2,500人の安全な通行の夢を実現するものでもあり、また、交通ネックの解消が期待されると共に、災害の避難場所としての加茂小学校体育館へ大型車両が進入できる唯一の道路となる非常に大きな効果のある道路なので、まちづくり交付金で出来るだけ早期の完成にむけた努力をお願い

#### 町長

現在改良  
中の岡踏切

します。

を中心として鉄道南側を東西に横切る路線ということで計画しています。西へ向けての用地交渉ができません。まちづくり交付金事業も平成23年度限りということですので、この事業での実施は難しいと判断しました。ただ、当該踏切から東、加茂小学校方面へは以前よりいろいろなご意



完成した岡踏み切り

見をいただいているので、実施すべき事業として平成23年度予算として組み入れて、この事業で完成させたいと思っています。また、西へ向けての連絡としては、国道から農免道路へ向けて拡張された道路でつなぎ、そこから貞広、稻持方面への道路拡張による方法が可能だと考えています。この案と、計画していた路線の交渉との二つの案を検討しながら進めて行きたいと考えています。

# 未婚の男女に集いの場を

町長 まずは各団体に相談から始める



よこげき あきよし  
横関 秋義議員

**横関秋**

町には、結婚をして

いない若者が増えていいます。異性と出会う機会がないのが一番の原因だと思います。若者による「東みよし町の未来を考える会」の設立とか、ダンス、カラオケ、ミステリートレインや、行政側の主導で結婚相談所の開設など、未婚の男女に集いの場を作ってはとうですか。

**町長**

三好市  
たは東みよし



カップリングパーティー

相談をしたいと思  
います。相談所に  
つきましては、婦  
人会とか福祉委員  
会なり、あるいは  
更生保護女性会な  
どの団体にも一度  
相談をしたいと思  
います。まず、相  
談から始めさせて  
いただきたいと思  
っております。

し町の商工会の青年部を  
中心に、年一回カップリ  
ングパーティーを実施し  
ています。実績は、今ま  
で年に約1組の確率で  
カップルが誕生し、結婚  
をしている状況です。ま  
た、三好市には、さくら  
結婚サポートセンターが  
あり、また徳島県では、  
きらめき縁結び応援事業  
を展開しているようで  
す。若い方のおつき合い  
なので、商工会の青年部  
にもっといろんな事業が  
できないかというような  
相談をしたいと思  
います。相談所に  
つきましては、婦  
人会とか福祉委員  
会なり、あるいは  
更生保護女性会な  
どの団体にも一度  
相談をしたいと思  
います。まず、相  
談から始めさせて  
いただきたいと思  
っております。

## 少子化対策の取り組みは

町長 雇用対策を進める

**横関秋**

町では、出生率が平

成2年度には12・7であ  
ったものが、平成21年度に  
は6・8と、約半減をし  
ています。出生数も平成  
2年度が202人、平成  
21年度は107人、これ  
も約半減しています。少  
子化に歯止めをかけない  
と町の活力がなくなるば  
かりではなく、止めるこ  
とのできない危機の状況  
が来るのではないかと思  
います。町としての少子  
化対策の取り組みは、

**健康づくり課長**

本町の妊婦に対して

の取り組みは、妊娠届け  
時に保健師が相談に同時  
対応するとか、妊娠期の  
ほぼ全期の健診費用を公  
費負担します。また、保



妊婦健康診査受診券

健師が家庭訪問して、病  
院との連携を図りながら  
妊娠とか分娩に対する不  
安を解消し、安全な出産  
健やかに育てていける支  
援を行っています。子供  
たちへの支援としては、  
福祉課とも連携しながら  
出産後の早期に保健師が  
全戸の家庭を訪問して、  
成長とか育児不安などを  
支援する「こんにちは赤  
ちゃん事業」を実施して  
います。3年ほど前から、  
不妊の治療費助成事業に  
も取り組んでいて、県事  
業の上乗せ事業として、  
対象者に対して年間10万  
円を5年間継続して助成  
するような制度も行って  
います。

**町長**

男女雇用  
機会均等法

の制定等によって、女性  
が社会に進出するという  
機会の中で、いろいろな  
考え方も変わってきました。  
さらには、経済の低  
迷が続く、先が見えない  
という不安な状況の中  
で、今後多く子供を育て  
るといふことに自信が持  
てないというのが現状と  
思います。肝心なことは  
やはり雇用のことであ  
り、生活に必要な収入を  
得るといふことが必要な  
ので、雇用の機会の確保  
についても努力をしてい  
きたいと思っております。  
とにかく子供が少ないと  
いふことは、町の元気が  
大きく影響するので、い  
ろいろ雇用対策などを、  
できる限り進めていきたく  
と思っています。

# 青少年育成の取り組みは

生涯学習課長

問題点はない



はせがわ よしまさ  
長谷川 吉正 議員

長谷川

みよし広  
域連合で実

施していた青少年育成事業（みよし青少年育成セ

生涯学  
習課長

「青少年  
育成東みよ

ンター）が平成22年度末で終了し、平成23年度から三好市、東みよし町での事業になります。県西部地域で警察署がない本町での取り組みの体制、問題点はありませんか。

し町民会議」を結成し、毎年7月に総会と「防ごう少年非行、東みよし町決起大会」を合わせて開催しています。役員組織は、川原町長を会長に、教育委員、社会教育委員、学校、PTA、民生児童委員、補導委員、保護司会、更生保護婦人会、婦人会、交通安全協会、体育指導委員、体育協会、商工会、三加茂ライオンズクラブ、駐在所、地域の安全を守る会等の代表者、三好警察署、協働員等の方で構成し、事務局は生涯学習課が担当しています。現時点での、問題点はありません。



青少年育成東みよし町民会議

# 武道授業での生徒負担は

学校教育課長 個人負担はない



体力測定をする三加茂中学校の生徒

長谷川

平成23年  
度より導入

される三加茂、三好中学校での武道授業の種目決定の経過について。また、武道授業の時間数、道具の準備、生徒の負担はどうなりますか。

教育長

県教育委員  
会より、

柔道、剣道、相撲をメインに各担当の体育の先生を中心に指導方法について研究、研修会を開いてきました。その中で、三加茂中学校は柔道、三好中学校は合気道の実施を決定しました。合気道については研修をしていま

せんので、地域の資格者、指導者に協力をお願いします。ることになります。

学校教  
育課長

来年度は、  
試行として

三好中学校では各学年とも10単位時間を、三加茂中学校では、1年生、2年生の2年間で12単位時間程度を予定しています。服装については、三好中学校の合気道は体操服で実施。三加茂中学校の柔道については、昨年、文部科学省の研究指定を受け、上衣と帯を40着頂いていて、個人負担は必要ないと考えています。



三好中学校



# 今後の職員採用は

町長 平成24年度は3名か4名を採用予定

**長谷川**

平成23年度に4名の新規採用をし、年度末には多くの職員が退職します。平成24年度の採用を計画されていますか、何名の予定ですか。

**町長** 平成23年度末に定年退職を迎える方が15名いるので、平成24年度には3名か4名の採用を計画しています。定員管理で



庁舎駐車場を清掃する職員



元気に遊ぶ子どもたち

# 保育料の滞納状況は

福祉課長 118万円／9世帯の減少

**長谷川**

保育料

滞納の現状と卒園後の徴収の取り組みはどうなっていますか。

**福祉課長**

平成23年

3月1日現在で、滞納総額は843万円で21世帯あります。平成22年6月1日の時点では、961万円の滞納で30世帯でした。滞納世帯への電話や訪問をはじめ、納付相談などを実施し、金額では118万円、世帯では9世帯の減少となっています。卒園された方へも家庭訪問の実施など、同じ取り組みを実施しています。

# 子ども手当からの徴収は

福祉課長 町長の判断で徴収できる

**長谷川**

子ども手当が継続される場合、保育料、給食費を子ども手当から徴収できますか。また、子ども手当が廃止になれば、児童手当に変わるようですが、児童手当の支給などはどうなりますか。

**福祉課長** 保育料については、市町村長の判断で子ども手当より徴収することが

できるようです。その場合、対象となる方に金額、そのほか厚生労働省令で定める事項などを通知します。給食費については、本人からの申し出がなければできないと聞いています。児童手当に戻った場合は、大幅なシステムの変更等も必要となり、手当の6月支給は難しく、10月支給になると予想しています。



絵堂っ子(3/19の休校式において)

# 障害者の耳マーク掲示について

福祉課長 役場の窓口等に設置の方向で検討



横関 道恵議員

**横関道**

3月3日は、耳の

日でした。耳マークは、障害者のための、聞こえが不自由なことを表す国内で使用されている障害者マークです。障害者は、見た目にはわからないために、誤解されたり、不利益をこうむったり、社会生活上で不安が少なくありません。このマークを出された場合は、相手が「聞こえない」ことを理解し、「コミュニケーションの方法への配慮についてご協力をお願いしたい」というものです。耳マークを三好、三加茂庁舎及び町の福祉施設にも掲示をしていただけますか。また、

公共施設など多くの人が利用する場に設置の推進をお願いします。

**福祉課長**

耳マークの表示板に

については、福祉課・住民課はもとより福祉関係の施設、役場の窓口等に設置をする方向で、早急に検討します。耳マークの普及とともに、障害者や聴覚・難聴の高齢者の方々に対して、聞こえないということとを十分理解して、「コミュニケーションを二層図れるよう配慮をします。」



耳の不自由な方は筆談しますのでお申し出下さい



聞こえが不自由なことを表す「耳マーク」です

庁舎にも耳マークの提示を

## 一般質問



庁舎内の置かれた耳マーク

**横関道**

高齢化で声が聞き取りにくいといった方が多くいます。その方々にも、(本人が希望の場合)耳マークカードを無料配布して、心配りのある行政サービスを充実させたいと思います。関係機関に問い合わせをしたところ、営利目的でなければ利用してもかまわないとのことでした。耳マークカードを作成し、庁舎に置いて、必要とする方には無料配布ができますか。

**福祉課長**

新年度から試験的に何枚か窓口に着かせて頂き、検証を必要の方に支給を考慮しています。

## 担当課での放送に切り替えたのは

企画課長 内容を理解し、責任が持てるため

**横関道**

現在の告知端末の普及率は、99%となっているようですが、これからの音声告知放送は、今後の行政のサービスに大きな役割を果たすものと考えます。①企画課での放送を、各課での放送に切り替えたのはなぜですか。②告知放送の考え方・基準(屋外・屋内)は。③1日3回の時報(チャイム)の内、朝7時は必要ないとの声もありますがどう思われますか。④音声放送には、チャンネルが4チャンネルありますが、今後この4チャンネルの利用方法は決まっていますか。⑤自治会独自の連絡放送もできるようですが、推進、規定は決まっていますか。

**企画課長**

①放送の内容は、担

当課が最も理解しており、放送内容に責任が持てること。防災行政放送は、早くから予定される放送ばかりではなく、緊急を要することもあり、普段から放送機械に慣れ、できるだけ多くの職員が自在に放送できるようにしたい。②各課での詳細な基準はありませんが、全体的に放送の範囲、方法は一定の取り決めを行い、各課に周知をしていきます。③チャイムの7時は必要ないという方と、必要という方が必ずいると思いますが、現時点では現行のままで行かせていただきたいと思います。④現在4チャンネルのうち1チャンネルを使っています。残りのチャンネルは、将来的には公共団体等に貸出することは可能ですが、大きな経費が



音声告知端末機

必要になってくると思うので、今のところは現行のままです。

⑤告知放送運用基準の策定を準備を進めているところです。現在は、従前の「防災行政無線放送に関する規則」を準用し運用しています。運用計画は「Jアラート」との接続連携を行いたいと考えています。

### 横関道

音声放送・映像放送

送の専門部署等の設置などは、今後の検討を考慮して進めたいと考えています。

### 町長

告知放送を含めた情報

報関係の部門の設置は今後必要かと思っています。専門的な知識を持った職員を育て、協議をしながら進めていきます。

※ 全国瞬時警報システム（通称：Jアラート）は、

（Jアラート）は、通信衛星と市町村の通報系防災行政無線を利用し、緊急情報を住民へ瞬時に伝達するシステムです。

## 追跡

# あの質問はあれからどうなった？

議員が行う質問や提言が、行政にどのように反映されているのか。これまでの質問の中から一部を取り上げ、その後どうなったかを追跡しました。

## 「水辺の楽校」トイレの汲み取り料の削減を

（2009年9月議会）

**問** 毎年100万円以上の水洗トイレの汲み取り料がかかっている。汲み取り料の削減を。

**答** 節水に努めているが、浄化槽施設整備を含め改善策を考える。

### その後



合併浄化槽埋設状況

2つのトイレを合併浄化槽に取り替え、年間の維持費は約20万円になりました。

## 高齢者世帯へ火災報知器の設置補助を

（2010年6月議会）

**問** 平成23年6月1日より全ての住宅への火災報知器の設置が義務付けされる。75歳以上の高齢者世帯へ火災報知器の設置補助をしてはどうか。

**答** 火災による被災者も多いので、高齢者世帯へ火災報知器の設置補助を検討する。

### その後



火災報知器推進のぼり

75歳以上の者のみで暮らす世帯に、火災報知器1台を設置することにしました。

